

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) J F E ケミカル株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号JFE蔵前ビル4階	
本票作成	部署名：西日本製造所				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容；コールタールの蒸留及び化学製品、無機材料の研究、開発、製造および販売 ・従業員；325名(令和6年7月現在)・タール蒸留量；334.1千t/年 				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	笠岡工場		岡山県笠岡市鋼管町9番2	
	②	倉敷工場		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度		～	令和 6 年度 (1 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	155,982 t CO ₂			154,422 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	笠岡工場		90,029 t CO ₂					
	②	倉敷工場		65,953 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	設備別の補正装入量の合計		基準年度	目標年度
			233.55 t CO ₂ / (千 t)	231.22 t CO ₂ / (千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

削減目標については、省エネ法に準じて温室効果ガスCO₂原単位の年1%削減の確保を目指している。

【目標削減率達成のための推進体制】

半期ごとの予算編成時に省エネの管理部署(総括室)が各部署の省エネテーマを吸い上げ計画を策定し、実行をフォローしている。毎月、製造所長・各室長・工場長以下のメンバーで開催される生産会議および環境管理委員会において、各テーマの進捗状況について担当部署が報告を行い、フォローしている。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none"> ・化成品設備照明のLED化による省エネ ・化成品MP-3設備の蒸気トラップ更新
倉敷工場	<ul style="list-style-type: none"> ・2回分留出油クーラー更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
笠岡工場	<ul style="list-style-type: none"> ・化成品設備の並列運転ポンプの片側運転化
倉敷工場	<ul style="list-style-type: none"> ・制御自動化による生産時間短縮(酸化鉄水洗水添加自動化) ・熱交換器の伝熱面積最適化による省蒸気(1回分留出油クーラー) ・製造条件最適化によるダウンタイム抑止(HC融着対策)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--